

宮城県宗務所報

発行所

曹洞宗宮城県宗務所

仙台市泉区市名坂字檜町169-4

TEL 022(218)3801

FAX 022(218)3803

e-mail:sotou-miyagi@road.ocn.ne.jp

発行者 所長 三田村 道雄



(通木山 西林寺)

野山は緑におおわれ、風物はことごとく夏の姿になる季節となりました。

管内各ご寺院諸老師、ご家族様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

常日頃、宗務所運営につきまして、格別なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年度の宗務所行事等につきましては、コロナ禍ということでは、感染拡大防止の観点より、行動の自粛を余儀なくされ、当初計画された行事の実施が難しくなり、中止せざるを得ない状況でございました。

(各委員会の会議・梅花養成所につきましては、オンライン等を活用して実施いたしました。)

その為、例年以上の余剰が発生し、余剰は繰越金として令和三年度に十分活用させていただくことにより、所費の負担を軽減したい旨の案件を、三月開催の定例予算所会に上程させていただきました、無事承認を得られました。



ご挨拶

曹洞宗宮城県宗務所長

三田村 道雄

本年度の行事関係につきましては、昨年度同様、中止を余儀なくされるものもありますが、オンライン等の方法を視野に入れながら、出来る限り当初行事計画通り実施したいと存じます。

また、五月の定例決算所会において、所会の招集が困難な時の為に、書面会議を行う場合を規定する為の案件、それに伴う宗務所条例一部変更案を上程いたしました。全員の賛同を得て承認されました。議案は今後も職員一丸となって、宗務所行政を展開してまいりますので、何卒、ご支援ご法愛賜りますようお願い申し上げます。

近頃、変異のある強いウイルスが確認されており、依然として猛威を振るっている状況です。

各ご寺院様におかれましては、可能な限りの感染予防対策を講じているとは存じますが、十分に健康に留意され、檀信徒の教化に努められます様お願い申し上げます。時節柄、皆様の法体堅固と山門興隆をお祈り申し上げます。

合掌

令和三年度曹洞宗布教教化に関する

告諭・布教教化方針について



曹洞宗特派布教師 廣瀨寺住職 奥野昭典

はじめに

布教教化に関する告諭（以下「告諭」という。）とは、管長猥下が、その年度ごとに公布します。布教教化方針とは、告諭に基づき内局がその年度ごとに策定し公示します。そして布教教化に従事する者は、告諭及び布教教化の趣旨の徹底に努めなければならないと宗制に定められています。

令和三年度告諭について

今年度の告諭は冒頭に新型コロナウイルス感染症が大きく取り上げられ、近年頻発する自然災害など現状の苦難が示されています。

曹洞宗の信仰に生きる私たちに、お釈迦さまが菩提樹の下で坐禅を重ねられ、お悟りを開かれた坐禅の重要性が強調されています。この「大地有情、同時成道」から他者への思いやり、発菩提心が示されます。その実践として「同事」の菩薩行を進められています。

布教教化方針について

「竿頭の先に未来をひらく」をスローガンに、「一仏両祖への帰依」、「禅の実

践」、「菩薩行の実践」、寺院を場とした関係づくり、SDGsへの取り組みが策定されています。特にSDGsは昨年度から推進されています。この持続可能な開発目標は、新しい考え方を取り入れたのではなく、元来、仏教に内在していると考えます。

告諭敷行の一例

一般檀信徒の方には、私が考えた「四摂法の花」を用いて仏教語を分かりやすく説くように努めています。一例として法話の展開をご紹介します。



絵の下の方に根を描きました。「坐禅」とあります。土の中ですから誰に見られる訳でもなく、ただ坐るのです。身体を調え、息を調えて、手を合わせる、

そのお姿も坐禅だと私は思います。日常生活の一つひとつを丁寧に感謝の心で行うことなのです。

そのような生活をしていると、自然と身に「智慧」の芽が備わってまいります。知識のことではありません。仏教の教えをたくさん知っているだけでなく、その教えを、ご自身の生活にどのように活かしているのか、ということなのです。

智慧から慈悲が生まれてまいります。慈悲を養うのは坐禅によります。両方には葉っぱを描きました。「慈しみ」と「悲しみ」は、少し意味合いが違うのです。「慈しみ」とは、相手に楽しみを与えること、褒めてあげること、励ましてあげることです。もう一方の「悲しみ」とは、相手の苦しみを抜いてあげることです。では、どうすれば、その方の悲しみ・苦しみを抜くことができるのでしょうか。私はこう思っています。励まさないことです。ただ隣にいて、「そっだね」と寄り添うのです。それだけで、どれほど救われていくか。

喜びも悲しみも全部頂いて、慈悲と智慧を糧として、きれいな四瓣の花を咲かせていきたい。「布施・愛語・利行・同事」の花です。「四摂法」とあります。四つの教えがまとまったもの、という意味です。

この四つの教えを、実行・実践している人の事を菩薩と呼びます。仏像や仏画の菩薩様だけではないのです。

「布施」物でも心でも分けて差し上げることです。見返りを求めず分けて

あげることが出来るか。相手を思いやれるのか、布施の修行です。

「愛語」優しい声かけです。「お早つ」という言葉には調子はどうですかという「思いやり」が添えられています。「お休み」という言葉には「お体を大切に」という、願いが添えられています。時には、厳しい言葉も、その人のことを思って、智慧と慈悲を以って発せられるのなら、愛語なのです。

「利行」誰かのためにする行い・行為のことです。散らかった靴を揃える、座席を譲るなど、自分のできる範囲でよいのです。「してやったのに」と思わないことです。

「同事」相手の立場になってみる、相手の事を分かってくることです。お釈迦様は「自分だったらどうか、自分に引き比べて考えなさい」と、經典にたくさん残されています。

この花びらは、いつかは無常の風が吹いて散ってしまいます。地面に落ちて、やがて土になります。心静かに坐り手を合わせる時、今までして頂いたこと、お世話になったこと、自然の中に生かされていることに気付いてまいります。それを坐禅の根で頂いていく。そしてまた、自分の花を咲かせてまいりますよう。

まとめ

聞法者に対応して身口意を以って至信にお伝えするには、先ずは自分が告諭・布教教化方針に適った生活をする

宗務所寺族会・護持会 役員名簿

護持会役員

R3.4.1~R5.3.31

教区	寺院名	氏名	役職名
第1教区	金昌寺	板橋 渉	副会長
第2教区	秀林寺	児玉 静夫	
第3教区	鳳寿寺	松浦 富雄	監事
第4教区	法常寺	佐藤 出	会長
第5教区	名川寺	引地 智	
第6教区	瑞雲寺	伊藤 暉郎	
第7教区	法圓寺	佐々木 喜一	
第8教区	瑞雲寺	星 明朗	
第9教区	瑞川寺	米城 正興	
第10教区	西林寺	村上 友一	
第11教区	寿昌院	五野井 嘉男	
第12教区	延命寺	阿部 正治	
第13教区	照源寺	木村 征一	
第14教区	頼光寺	小野寺 實一	
第15教区	慈眼寺	村岡 賢一	
第16教区	地福寺	鈴木 伸太郎	
第17教区	吉祥寺	阿部 捷廣	
第18教区	観音寺	岩 淵 正憲	
第19教区	大雄寺	三戸部 栄一	理事
第20教区	高泉寺	千田 清憲	理事
第21教区	興禅寺	石垣 富一郎	理事

寺族会理事

R3.R4年度

教区	寺院名	氏名	役職名
第9教区	三古寺	岸 恵代子	会長
第1教区	長徳寺	小林 恵子	
第2教区	輪王寺	日置 智恵	編集委員
第3教区	慈雲寺	三峯 明美	編集委員
第4教区	高林寺	牧野 久美子	
第5教区	洞昌寺	奥野 直子	会計
第6教区	福應寺	佐藤 まさ子	副会長
第7教区	玉昌寺	千葉 智子	
第8教区	正来院	小野崎 美恵	
第9教区	桂雲寺	花山 弘子	
第10教区	皎善寺	工藤 敏子	編集委員
第11教区	東周院	笠松 千賀子	
第12教区	浄音寺	加藤 伸子	副会長
第13教区	大永寺	武田 美知子	
第14教区	保昌寺	沼田 智恵	
第15教区	長観寺	小松 豊実	編集委員
第16教区	興福寺	須田 祐子	
第17教区	能持寺	佐藤 富士江	副会長
第18教区	柳徳寺	荘司 史子	
第19教区	鳳仙寺	内山 仁省	
第20教区	祥雲寺	鮎田 洋美	
第21教区	見松寺	小林 美樹	庶務
第2教区	松音寺	金山 多賀子	監事
第13教区	照源寺	三宅 仁子	監事

後継者対策委員会

任期 R5.3.31

教区長	寺院名	氏名	役職名
第10教区長	東溪寺	宮崎 英行	副議長
第21教区長	興禅寺	渡邊 隆悦	決算委員長
第13教区長	照源寺	三宅 哲也	決算副委員長
第1教区長	明川寺	渡邊 泰信	
第5教区長	名川寺	菅野 喜道	
第7教区長	雲泉寺	坪内 俊明	
第9教区長	瑞川寺	木村 謙文	
第11教区長	寿昌院	山田 宗雄	
第15教区長	明耕院	佐藤 博童	
第18教区長	松岩寺	佐藤 澄隆	
寺族会会長	三古寺	岸 恵代子	
青年会会長	大慈寺	高橋 信弘	

災害対策委員会

任期 R5.3.31

教区長	寺院名	氏名	役職名
第19教区長	高音寺	岡崎 正利	議長
第17教区長	虎溪寺	鈴木 明浩	予算委員長
第3教区長	福定寺	山田 達磨	予算副委員長
第2教区長	大林寺	田村 孝順	
第4教区長	耕龍寺	清水 了祐	
第6教区長	自照院	錦織 泰禅	
第8教区長	大樹寺	天野 大真	
第12教区長	天星寺	小松 賢峯	
第16教区長	青龍寺	工藤 靈龍	
第20教区長	松窓寺	森 孝史	

Earth Day Tokyo 2021 オンライン企画

「Zazen」で身体を調える、オンライン坐禅会

Zazen Online - Harmonize Body and Mind - 開催報告



総合研究センター 宇野全智

アースデイ東京は、代々木公園を会場に毎年十万人以上が集まる日本最大級の環境イベントで、曹洞宗では二〇一七年から野外テントブース出展の形で参加し、坐禅・写経・食作法体験やパネル展示など、二日間で延べ三千人以上の方に来場して頂く人気の企画となっていました。しかしコロナ禍イベントの開催が難しい状況が続いてきました。

一方で、外出や行動が制限される生活の中で閉塞感を抱え、また先行きの見えない状況に大きな不安を感じながら生活する方の存在も見逃せないものとなってきました。これはコロナ禍における自死率の増加などにも顕著に表れています。

そこで今回は、オンライン出展的にを絞り、テーマや対象を変えながら複数回の坐禅会を開催することとしました。

以下、開催趣旨と概要などを報告します。

■配信方法

zoom配信の形式で、リアルタイムの坐禅会に参加している雰囲気を出せるよう心がけました。チャットを開け、質問にも対応できるようにしました。必要最小人員は講師、入室・ミュート等管理の事務局の二名です。

■プログラム紹介文について

「坐禅はお寺に行かないと出来ない」と思っている方が多いかもしれませんが、坐禅は、いつでも、どこでも、誰でも気軽に出来るものです。はじめての方も大歓迎！こんな時だからこそ、穏やかな坐禅を体験してみませんか？※自宅でも、一人でも気軽に参加できることを前面にアピールしました。

■各回構成について

内容については、SDGsに関連した禅の話(三〇分)と坐禅体験(四〇分)と質疑応答やお坊さんとの対話(二〇分)の九〇分を基本として、各回講師が適宜調整しました。また曜日や時間、内容を毎回変える事によって、より多くの方に関心を持ち、参加して頂けるよう工夫しました。

★第一回 四月十九日(月)

午前十時～十一時半

★まずは「坐禅」を体験してみよう！

坐禅のイメージを「日常から離れる」「足し算ではなく引き算の自分を感じる」「のんびり、ゆっくりな時間を味わう」の三点をキーワードに伝える超入門編。自宅の座布団やクッションを使って、気軽に出来る坐禅の仕方を学びます。

※UDトーク対応回。聴覚障害者への対応として、音声自動テキスト化ソフト「UDトーク」をzoomに組み込み、字幕付きの指導を行いました。誤変換を修正する専任の担当者が、当日会場で出来る限り修正・編集を行いました。

★第二回 四月二十日(火)

午後二時～三時半

★禅の教えとSDGs

「食」を通じて考える
～「食」を通じて考える

●私たちが毎日行う「食事」という行為を、禅の思想では「大切な修行」と位置づけます。修行道場で毎日お唱えする「五観の偈」というお経を通じて、食の大切さを改めて学びます。

※「禅と食」については、SDGsと関連して一般の方にも関心・人気の高いコンテンツです。「五観の偈」写経の実施も検討しましたが、事前準備の関係で見送りました。次回以降の課題とします。

★第三回 四月二十一日(水)

午後七時～八時半

★誰でもできる「坐禅体験」

●修行道場では、暁天とよばれる朝の坐禅と、夜坐とよばれる夜の坐禅を特

に大切にお勤めします。一日の最後の時間を、いつでも、どこでも、誰でも出来る「いす坐禅」で締めくくります。

※身体機能障害の方の参加も視野に入れ、いす坐禅を実施しました。またノー残業デイを意識し、水曜日を夜の会としました。

★第四回 四月二十二日(木)

午後七時～八時半

★禅の教えと働く意味を考えながら、一日を、坐禅から始めよう！

●禅の修行道場では、坐禅や読経はもろろんですが、食事を作ることなどの日常の「働くこと」を、とても大切な修行と考えます。どうして働くことが修行となるのか？『典座教訓』というお経から、禅の思想を学びます。

※「働く」事の意味が問い直される時代と考え、取り上げました。

★第五回 四月二十三日(金)

午後二時～三時半

Experience "Zazen" in English

You may think it is necessary to go to a temple for practicing zazen, but in fact, anyone can do it, anywhere and anytime. Even those who have never practiced, welcome! How about trying zazen with us?

※英語対応回。すべての説明を英語にて行いました。

SENDAI・ZEN・Lab オンライン坐禅会について

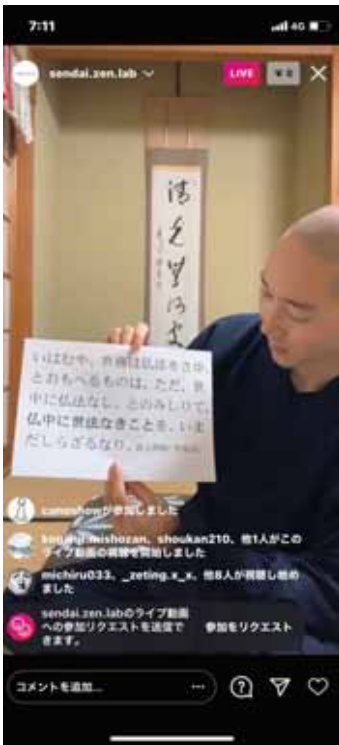


SENDAI・ZEN・Lab 代表
江巖寺住職 我妻俊道

SENDAI・ZEN・Labは、坐禅を学び、その学びを共有する場として有志僧侶が集まり活動しています。平成三十年二月から毎月一度、「PLAY坐禅」と称した坐禅会を続けてきました。主に坐禅・法話・茶話会を行い、時には精進料理やヨガを取り入れたり、企業に出向いての坐禅会を行うなど、様々な形で試行錯誤しながら活動をしてきました。茶話会での参加者の方々の会話や、僧侶同士で坐禅や仏教の教えについて対話することを通して、自分にとって貴重な気づきがあり、自坊でおつとめする上でも大きな糧となっていました。

現在ではコロナ禍で、これまで続けていた坐禅会は休止し、SNSのインスタグラムでのライブ配信を二週間に一度行っています。ライブ配

信を始めたのには、これまでの「PLAY坐禅」に継続的に参加して坐禅をする習慣を続けてきた方々に、コロナ禍においても坐禅をする機会を作りたい、というのが動機でした。オンラインでの坐禅会では、「オンラ



インよりもやはりお寺で坐禅をしたい」という参加者からの声もあり、改めてお寺という場のもつ価値を感じたこともありました。また、対面ではなくスマホ等の画面越しに話をすることに戸惑いも感じましたが、視聴した方から「穏やかな気持ちになりました」とコメントを頂いたり、オンラインの坐禅会を始めてから見てくれるようになった方との新たなご縁もありました。コロナ禍で出来ることを模索し学んでいきたいと思っています。

「オンライン坐禅会」



東京都 第四教区 大龍寺副住職 太田賢孝

海外にもその名が届く歌舞伎町と同じ新宿区内に拙寺があります。徒歩圏内の檀家さんがほとんどいないこともあって、檀信徒に限らず誰でも歓迎する同行同修の行持を心がけてきました。が、昨年三月の坐禅会中止を皮切りに、春のお彼岸以降、ほとんどの行持を内献で勤めています。いかなる状況でもその時できることをしようと、坐禅会・法要のオンライン化にも取り組むことにしました。

翌四月にオンライン坐禅会を始めてからも機器の使い方や、話し方など試行錯誤ばかりです。スマホ一つで気軽に配信したり、画面構成を工夫するためビデオカメラに三脚で撮影をしたり、境内の木陰から配信したこともありました。宗門の坐禅が人を救うのであれ

ば今こそ！と、変わらない只管打坐を、どんな手段も厭わず伝えてみよう心がけています。そんな私を多様な参禅者が支えてくれています。自宅勤務が続いている方、海外赴任中の方、来日を断念した外国の方。子育て中の方からは、坐れたのは子供が静かだった数分だけ。でも子供をあやしむつ最後までお話が聞けました」と。オンラインだからこそ参加できた方の感想に震えました。今後は、パソコン・スマホが使えない方やネットへの接続環境が整わない方への対応、初めて坐禅をする方に自宅での坐禅環境の整え方・坐り方を伝える方法を参究など、課題は山積みです。諸老師方からのご指導を仰ぎつつ、続けていきたいと思っています。

令和2年度曹洞宗宮城県宗務所事業報告

令和2年4月1日～令和3年3月31日

月	日	曜日	担当	内 容	場所・備考	月	日	曜日	担当	内 容	場所・備考	
4	6	月	梅 花	養成所初級 開所式 ※延期	宗務所 2階講堂	10	8	木	センター	第174回禪をきく会 ※中止	楽楽楽ホール	
	7	火	梅 花	養成所上級 開所式 ※延期	宗務所 2階講堂		-	-	保護司会	曹洞宗保護司会総会	新寺清月記	
	8	水	宗務所	休務 (降誕会)			12	月	梅 花	養成所初級⑥	宗務所 2階講堂	
	10	金	人 権	人権擁護推進委員会 ※延期	宗務所 2階講堂		14	水	梅 花	養成所上級⑥	宗務所 2階講堂	
	13	月	宗務所	宗門護持会評議委員会 ※延期	東京 (宗務所)		16	金	梅 花	師範研修所③	宗務所 2階講堂	
	14	火	センター	第172回禪をきく会 ※中止	楽楽楽ホール		20	火	梅 花	検定委員会 ※中止	宗務所 2階講堂	
	16	木	教化	所報編集小委員会 (原稿郵送校正)	宗務所 1階会議室		21	水	管 区	東北管区役員人権啓発研修会 (22日迄) ※中止	福島県 (第1原発)	
	21	火	宗務所	予備監査	宗務所 1階会議室		26	月	教化	寺族会事務局会	宗務所 2階講堂	
	22	水	宗務所	住職続続祝賀会 ※延期	新寺清月記		27	火	センター	東北管区布教講習会 (28日迄) ※中止	モンテレ仙台	
	23	木	教化	宗務所婦人会 ※中止			28	水	梅 花	検定会① ※中止	②林香院	
	27	月	教化	第1回布教委員会 ※中止	宗務所 2階講堂		11	6	金	梅 花	検定会② ※中止	⑬法山寺
	28	火	宗務所	監査会 ※延期	宗務所 1階会議室		11	水	梅 花	養成所初級⑦併設検定会	宗務所 2階講堂 宗務所 1階会議室	
5	15	金	宗務所	定例 (決算) 所会・責任役員会 ※延期	宗務所 1階会議室		12	木	梅 花	養成所上級⑦併設検定会	宗務所 2階講堂 宗務所 1階会議室	
	18	月	梅 花	師範研修所① ※延期	宗務所 2階講堂		16	月	梅 花	師範研修所④	宗務所 2階講堂	
	21	木	教化	護持会役員会・監査会 ※中止			19	木	管 区	東北管区教化指導員研修会 ※中止		
	25	月	教化	教化指導員会 ※延期	宗務所 2階講堂		25	水	青年会	チャリティバザー ※中止		
	27	水	梅 花	梅花流全国奉詠大会 ※中止	札幌市 (大会1日目宮城県登壇日)				令和2年度現職研修会 ※延期又は中止			
6	1	月	教化	護持会総会 ※中止	宗務所 2階講堂		12	1	火	センター	第175回禪をきく会 ※中止	楽楽楽ホール
	2	火	管 区	東北管区宗務所役員連絡協議会 (3日迄) ※中止	山形県 米沢		2	水	梅 花	養成所初級⑧	宗務所 2階講堂	
			青年会	宗務所共催ソフトボール大会 ※中止	仙台市蒲生		7	月	教化	所報編集委員会 (原稿郵送校正)	宗務所 1階会議室	
			宗務所	監査会	宗務所 1階会議室		8	火	宗務所	休務 (釈尊成道会)		
			センター	第172回禪をきく会 ※中止	楽楽楽ホール		10	木	梅 花	企画委員会	宗務所 2階講堂	
	8	月	梅 花	特派講習会 (13日迄) ※中止			18	金	管 区	東北管区宗務・宗務所役員連絡協議会 (19日迄) ※中止	宮城県 (仙台市)	
	22	月	教化	特派布教師巡回布教 (26日迄) ※中止			-	-	宗務所	全国管区長会議 ※中止	宗務所	
	24	水	宗務所	教区長会	宗務所 2階講堂		25	水	宗務所	休務 (年末年始 1月10日迄)		
	29	月	教化	令和2年度第1回現職研修会 (30日迄) ※延期	ホテルニュー水戸屋		1	16	土	宗務所	休務	
			教化	東北管区婦人会研修会 ※中止	岩手県花巻市		21	木	人 権	後継者対策委員会 ※中止	宗務所 2階講堂	
			教化	寺族会総会 (1日迄) ※中止	ホテルニュー水戸屋		25	月	管 区	東北管区人権主事連絡協議会 (26日迄) ※中止	宮城県 (仙台市)	
			宗務所	責任役員会	宗務所 2階講堂		27	水	梅 花	評議委員会	宗務所 2階講堂	
			宗務所	定例 (決算) 所会	宗務所 2階講堂		28	木	宗務所	予備監査会	宗務所 1階会議室	
			宗務所				30	土	教化	所報第103号発行		
7	7	火	梅 花	養成所初級 開所式	宗務所 2階講堂		2	-	-	宗務所	曹洞宗宮城県保護司会新年祝賀会 ※中止	新寺清月記
	9	木	梅 花	養成所上級 開所式	宗務所 2階講堂		1	月	梅 花	養成所初級⑨	宗務所 2階講堂	
	10	金	管 区	東北管区教化指導員研修会 ※延期	モンテレ仙台				宗務所	監査会	宗務所 1階講堂	
	15	水	梅 花	師範研修所①	宗務所 2階講堂		2	火	センター	第176回禪をきく会 ※中止	楽楽楽ホール	
	28	火	梅 花	養成所初級②	宗務所 2階講堂				教化	第2回布教委員会	宗務所 2階講堂	
	29	水	梅 花	養成所上級②	宗務所 2階講堂		3	水	梅 花	養成所上級⑨	宗務所 2階講堂	
	30	木	教化	所報第102号発行			8	月	宗務所	所会運営委員会	宗務所 2階講堂	
8	10	月	宗務所	益休務 (20日迄)			15	土	宗務所	休務 (釈尊涅槃会)		
	21	金	教化	徒弟研修会 ※中止	宗務所 2階講堂		17	水	梅 花	特別講習会 (前泊) ※中止	ホテルニュー水戸屋	
	26	水	梅 花	師範研修所②	宗務所 2階講堂		18	木	梅 花	特別講習会 (19日迄) ※中止	ホテルニュー水戸屋	
			センター	第173回禪をきく会 ※中止	楽楽楽ホール		19	金	梅 花	養成所初級⑩	宗務所 2階講堂	
	27	木	梅 花	養成所初級③	宗務所 2階講堂		22	月	梅 花	養成所上級⑩	宗務所 2階講堂	
	28	金	梅 花	養成所上級③	宗務所 2階講堂				師範研修所⑤	宗務所 2階講堂		
9	1	火	宗務所	予備監査	宗務所 1階会議室		3	2	火	センター	教化センター教化活動企画/推進委員会 (オンライン)	宗務所
	7	月	宗務所	監査会	宗務所 1階会議室				管 区	管区所長会 (オンライン)	宗務所	
	8	火	管 区	東北管区寺族研修会 (9日迄) ※中止	山形県 上山温泉 古窯		3	水	宗務所	全国人権擁護推進主事研修会 (オンライン)	宗務所	
	9	水	管 区	管内内布教師連絡協議会 (10日迄) ※中止					宗務所	教区長会	宗務所 2階講堂	
	10	木	センター	第53回教化フォーラム ※延期	モンテレ仙台		9	火	宗務所	全国所長会・実務担当者会議 (オンライン)	宗務所 オンライン	
	16	水	梅 花	養成所初級④	宗務所 2階講堂				梅 花	講報委員会	宗務所 2階講堂	
	17	木	梅 花	養成所上級④	宗務所 2階講堂		10	水	梅 花	養成所初級⑪	宗務所 2階講堂	
	19	土	宗務所	休務日 (秋彼岸) 25日迄			15	月	梅 花	養成所上級⑪	宗務所 2階講堂	
	28	月	宗務所	曹洞宗保護司会 監査・理事会	宗務所 1階会議室		16	火	宗務所	責任役員会	宗務所 1階会議室	
	30	水	梅 花	養成所初級⑤	宗務所 2階講堂				宗務所	定例 (予算) 所会	宗務所 2階講堂	
			センター	教化センター教化活動推進/企画委員会 ※中止	仙台市		17	月	宗務所	休務 (春彼岸23日迄)		
10	1	木	梅 花	梅花流宮城県奉詠大会 ※中止	仙台サンブラザホール		25	木	管 区	東北管区寺族会役員会・監査会 ※中止	宮城県 (仙台市)	
			梅 花	養成所上級⑤	宗務所 2階講堂							
	5	月	宗務所	全国人権擁護推進主事研修会 (7日迄) ※中止	未定							
			教化	所報編集小委員会	宗務所会議室							
			教化	寺族会事務局会	宗務所 2階講堂							

令和3年度曹洞宗宮城県宗務所事業計画(案)

令和3年4月1日～令和4年3月31日

月	日	曜日	担当	内 容	場所・備考	月	日	曜日	担当	内 容	場所・備考
4	19	月	梅 花	養成所初級⑫	宗務所 2階講堂	10	1	金	保護司会	曹洞宗保護司会総会	新寺清月記
	8	木	宗務所	休務(降誕会)			4	月	梅 花	養成所初級⑬	宗務所 2階講堂
	21	火	梅 花	養成所上級⑫	宗務所 2階講堂		5	火	梅 花	養成所上級⑬	宗務所 2階講堂
	22	木	宗務所	住職勤続祝賀会	宗務所 2階講堂		19	火	センター	第175回禪をきく会(オンライン正午配信開始)	10/7 現地収録
	23	金	教 化	第1回所報第104号編集小委員会	宗務所 1階会議室				梅 花	師範研修所④	宗務所 2階講堂
			宗務所	予備監査	宗務所 2回講堂		20	水	梅 花	検定委員会	宗務所 2階講堂
	26	月	教 化	第1回布教委員会	宗務所 2階講堂		25	月	教 化	護持会本山研修会	岩手県 正法寺
	27	火	センター	第172回禪をきく会(オンライン正午配信開始)	4/13 収録日 於 宗務所 2階講堂		-	-	宗務所	全国人権擁護推進主事研修会(日迄)	
			宗務所	監査会	宗務所 1階会議室		-	-	梅 花	県奉詠大会 ※中止	仙台サンプラザホール
			宗務所	所会運営委員会	宗務所 2階講堂	11	1	月	梅 花	養成所初級⑭併設検定会	宗務所 2階講堂 宗務所 1階会議室
	-	-	人 権	人権擁護推進委員会 ※中止	宗務所 2階講堂		2	火	梅 花	養成所上級⑭併設検定会	宗務所 2階講堂 宗務所 1階会議室
	-	-	教 化	宗務所婦人会 ※延期			8	月	管 区	東北管区役職員人権啓発研修会(9日迄)	福島
5	10	月	梅 花	養成所初級⑬	宗務所 2階講堂		9	火	梅 花	検定会①	⑬法山寺
	11	火	教 化	教化指導員会	宗務所 2階講堂		15	金	梅 花	検定会②	
	12	水	梅 花	養成所上級⑬	宗務所 2階講堂		18	木	センター	東北管区布教講習会(19日迄)	仙台市
	14	金	宗務所	責任役員会	宗務所 1階会議室	12	2	木	梅 花	養成所初級上級⑮研修所④合同1泊研修会(3日迄)	ホテルニュー水戸屋
			宗務所	定例(決算)所会	宗務所 2階講堂		8	水	宗務所	休務(釈尊成道会)	
	19	水	教 化	護持会役員会・監査会	宗務所 2階講堂		10	金	梅 花	企画委員会	宗務所 2階講堂
	26	水	梅 花	梅花流全国奉詠大会 ※中止	長野県		21	火	センター	第176回禪をきく会(オンライン正午配信開始)	12/7 現地収録
	28	金	梅 花	師範研修所①	宗務所 2階講堂		25	土	宗務所	休務(年末年始1月10日迄)	
			管 区	東北管区宗務所役職員連絡協議会(29日迄)	秋田市 秋田ビューホテル		-	-	教 化	所報第105号編集小委員会	宗務所 1階会議室
6	1	火	教 化	護持会総会	仙台サンプラザホール		-	-	管 区	東北管区宗議・宗務所役職員連絡協議会	
	2	水	梅 花	養成所初級⑭	宗務所 2階講堂		-	-	宗務所	全国管区長会議	
	4	金	梅 花	養成所上級⑭	宗務所 2階講堂	1	17	月	宗務所	予備監査会	宗務所 1階会議室
	9	水	青年会	宗務所共催ソフトボール大会 ※中止	仙台市蒲生		26	水	梅 花	評議員会	
	15	火	センター	第173回禪をきく会(オンライン正午配信開始)	6/3 収録日 於 宗務所 2階講堂		28	金	宗務所	監査会	宗務所 1階会議室
	25	金	センター	第53回教化フォーラム	ホテルモントレ		31	月	教 化	所報第105号発刊	
	-	-	梅 花	特派講習会 ※中止			-	-	宗務所	曹洞宗宮城県保護司会新年祝賀会	新寺清月記
	-	-	教 化	特派布教師巡回布教 ※中止			-	-	人 権	後継者対策委員会	宗務所 2階講堂
	-	-	教 化	県寺族会総会			-	-	人 権	災害対策委員会	宗務所 2階講堂
	-	-	教 化	第2回所報第104号編集小委員会			-	-	管 区	東北管区人権主事連絡協議会(日迄)	
7	1	木	管 区	東北管区教化指導員研修会	仙台市	2	1	火	梅 花	養成所初級⑯	宗務所 2階講堂
	6	火	梅 花	養成所初級⑮	宗務所 2階講堂		2	水	梅 花	養成所上級⑯	宗務所 2階講堂
	7	水	管 区	東北管区婦人会研修会(令和4年度へ再順延)	岩手県花巻温泉		8	火	宗務所	所会運営委員会	宗務所 2階講堂
			教 化	令和3年度現職研修会(リモート)	宗務所 2階講堂		15	火	センター	第177回禪をきく会(オンライン正午配信開始)	
	8	水	梅 花	養成所上級⑮	宗務所 2階講堂				宗務所	休務(釈尊涅槃会)	
	14	水	梅 花	師範研修所②	宗務所 2階講堂		16	水	梅 花	師範研修所⑤	宗務所 2階講堂
	29	木	管 区	東北管区人権三者協議会	福島グリーンパレス		25	金	教 化	第2回布教委員会	宗務所 2階講堂
	30	金	教 化	所報第104号 発刊			-	-	梅 花	特別講習会 ※中止	
8	10	月	宗務所	盆休務(22日迄)		3	2	水	センター	教化センター教化活動企画/推進委員会(3日迄)	宮城県(仙台市)
	21	金	教 化	徒弟研修会	宗務所 2階講堂				梅 花	養成所初級⑰閉所式	宗務所 2階講堂
9	1	水	梅 花	養成所初級⑯	宗務所 2階講堂		3	木	梅 花	養成所上級⑰閉所式	宗務所 2階講堂
	2	木	梅 花	養成所上級⑯	宗務所 2階講堂		9	水	宗務所	教区長会	宗務所 2階講堂
			宗務所	予備監査	宗務所 1階会議室		15	火	宗務所	定例(予算)所会	宗務所 2階講堂
	7	火	宗務所	監査会	宗務所 1階会議室				宗務所	責任役員会	宗務所 1階会議室
	8	水	センター	第54回教化フォーラム	ホテルモントレ		16	水	梅 花	講報委員会	宗務所 2階講堂
	13	月	梅 花	師範研修所③	宗務所 2階講堂		18	金	宗務所	休務(春彼岸24日迄)	
	14	火	センター	第174回禪をきく会(オンライン正午配信開始)	8/31 収録日 於 宗務所 2階講堂		28	月	梅 花	次期養成所講師打合せ	
	18	土	宗務所	休務日(秋彼岸)26日迄			-	-	宗務所	全国人権擁護推進主事研修会(日迄)	未定
	30	木	センター	教化センター教化活動推進/企画委員会(1日迄)			-	-	管 区	東北管区寺族会役員会・監査会	宮城県(仙台市)
			管 区	東北管区集会 ※中止	青森県		-	-	管 区	東北管区所長会	
	-	-	管 区	東北管区寺族研修会			-	-	宗務所	全国所長会・実務担当者会議(日迄)	宗務所

第五教区

大光寺 住職 三宅 泰信

「修訂曹洞宗の袈裟の知識」

川口高風 著

発行／曹洞宗宗務庁



本書は、旧版の『曹洞宗の袈裟の知識』の誤謬を訂正し、新たな論稿と付録を追加した修訂版である。初版は昭和五十九年に刊行されている。しかし、その後、絶版となった。

近年、向学心の盛んな宗侶や青年僧より再刊を望む声が出てきたため、再刊された。

曹洞宗の教えは、袈裟の仏法ともいえる。しかし、現在の宗門教育では、袈裟が大切であることを知りつつも、袈裟に関する知識は教育されていない。僧堂などにおいて、袈裟の掛け方、はずし方、畳み方は教えられないが、袈裟の知識に乏しいことは事実であろう。宗門の袈裟の教えを知る一冊である。



第六教区

福應寺 副住職 佐藤 滋元

「ボールのようなことば」

糸井重里 著

発行／東京糸井重里事務所



コピーライターの糸井重里さんの「ことば」を若い世代の人に伝えたいと思う思いから出版された本です。ほぼ日刊イトイ新聞のエッセイから人生の道を照らすことばを集めて刊行されています。混沌としている世の中において、だれしもが人生に悩み、生きる意味を見失いそうになることがありますが、そんな時に本書を手にとるとすっと肩の力が抜けていくような穏やかな時間に包まれます。また、自分の状況によってことばの感じ方が変わるのも面白く何度も読み返してしまいます。

少し時間が空いた時に読むもよし、ゆっくり休日手に取るもよし。優しく暖かいことばがたくさん詰まっています。人生にそっと寄り添ってくれるような一冊です。

「精進料理」

茄子の揚げ浸し

岩手県 正法寺 典座 高橋 哲行

【材料】 6人分

- ・ 茄子 3本
- ・ A 出汁 600 ml
- ・ 味噌 50 ml
- ・ A 薄口醤油 50 ml
- ・ A 砂糖大匙 2

【作り方】

1 茄子はヘタを取り除き縦半分にして、切り込みをいれてから三等分にします。



2 ミヨウバン水（分量外）に1時間浸して色止めをします。

3 鍋に味噌を入れて火にかけてアルコールを飛ばしたらA入れ、一煮立ちしたら火を止めて冷ましておきます。

4 茄子の水気を切って、170度の油で3分程度揚げます。

5 揚げた茄子に熱湯をかけて油抜きをします。



6 3の吸地に5を浸して半日おいたら完成です。



《教化指導員の活動について》



二十一教区
満興寺 副住職 時 泰 広

教化指導員は今年に入り二回演劇公演を行いました。一回目は令和三年六月九日に加美町・皆伝寺様を会場に演劇を行いました。対象は小学三年生十名と大人は保護者と先生を含め十名、合計二十名の方々にご覧いただきました。きちんとソーシャルディスタンスを取り、安心安全を心がけ、コロナウイルス感染予防対策をできる限りした上での公演でした。皆伝寺様のご厚意もあり、演劇が終わったあとには急遽子どもたちからの質問会も行い、和やかな時間を過ごすことができました。会場をお貸しいただきました皆伝寺様には演劇の機会をご提供いただき感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



二回目の公演は令和三年七月二日に登米市中田町もりのくまさん保育園で行いました。とても元気いっぱいの子どもたちばかりで、一緒にいるだけで私達もパワーを頂きました。こちらの公演もコロナウイルス感染予防を万全に行うため開催しました。演劇が始まると集中して一生懸命にご覧いただき、演者として素直に嬉しかったです。演劇が終わった後には子どもたちから「これからも友達と仲良くしていきます。」と言っていたいただきました。この素直さをつまでも大事にしてすくすく成長してほしいと思えました。

今後の教化指導員活動ですが、コロナウイルスの感染状況を確認しながらできる範囲で演劇活動を行っていきたくと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。以上ご報告でございます。



第十教区

西林寺沿革



通木山 西林寺住職 佐藤 孝基

表紙写真説明

元来、通木山西林寺は、村上惣兵衛なるものの創立、真言宗の安坐坊が開山する。その後荒廃、大永七年（一五二七年）八幡村に八幡寺建立に際し移転合併される。その後、明暦元年（一六五六年）遠田郡涌谷村の龍淵寺八世章外傳龍和尚の曹洞宗寺院として開山となる。小規模ながら新たに本堂、庫裏を設け、境内四七二坪、田三反、畑七畝、本尊釈迦牟尼仏とし、檀信徒数百戸にて通木村を区域とする。その後、五世実相笑顔和尚は、栗原市瀬峰の虎溪寺へ、六世智戒洞順和尚は、大崎市三本木の慈眼寺へ、七世泰応孝運和尚は大崎市古川万年寺へ、十世玉厚寛恩和尚は、美里町南郷の福厳寺へ、十一世大雄覚道和尚に至っては、鶴岡市禅竜寺へ、と歴代住職は、西林寺を振り出し他の寺へ転住するのが常態でした。その後、十二世惟徳孝英

和尚と、十三世了源孝之和尚は、遷化されるまで住職を全うされました。歴代住職の転住の変遷は、小規模で僅かな檀信徒でもって寺を運営する厳しさを象徴しているものと思われます。

昭和三十七年四月十日着工の本堂大改修に際しては、四月三十日田尻町を中心とする宮城県北部地震に見舞われ、寺檀共に被害甚大ながらも、同年六月の落慶に至りました。

また、西林寺境内には「涌谷館主碑」が昭和六年三月に建立されている。涌谷館主代々、事業の都度、通木村民他の協力を得たことに、報恩の情を示し、草飼地を賜わる。その共同事業の成果としての配当に、恩沢肝銘を記している。涌谷龍淵寺八世章外傳龍和尚開山以降、涌谷伊達藩とも通木村民の交流が続いたことを証明している。

新命住職

第四教区 秀麓齋 長澤 信慈 師 R2・12・3	第十九教区 満昌寺 松岡 瑞彦 師 R2・12・3	第十三教区 多福院 三輪 宗俊 師 R3・1・28	第三教区 化度寺 根来 興宣 師 R3・3・4	第十三教区 松巖寺 永井 直心 師 R3・3・4	第十三教区 法山寺 北村 暁秀 師 R3・3・4	第二十一教区 實相寺 柴田 玄逸 師 R3・3・4	第十五教区 福田寺 橋 勇貴 師 R3・6・2	第十七教区 起雲寺 菅原 弘智 師 R3・6・2
-----------------------------	------------------------------	------------------------------	----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	------------------------------	----------------------------	-----------------------------

結制修行

(一層の弁道精進を祈ります)

第八教区 (令和3 夏・前・初会) 法幢師 中村 龍典 師 首座 中村 宗典 兄	第一教区 (令和3 夏・中・初会) 法幢師 西山 道環 師 首座 中澤 太耀 兄	第二教区 (令和3 夏・中・再会) 法幢師 金山 富彦 師 首座 金山 泰樹 兄	第十教区 (令和3 夏・中・初会) 法幢師 熊本 淳法 師 首座 三田村尚範 兄	第十二教区 (令和3 夏・中・初会) 法幢師 佐々木高時 師 首座 佐々木良憲 兄	第四教区 (令和3 夏・後・初会) 法幢師 亀井 光昭 師 首座 亀井 光昌 兄
---	---	---	---	--	---

遷化

(謹んで弔意を表します)

第十四教区 頼光寺東堂 梶原 宗孝 師 82歳 R2・8・23	第六教区 真龍院東堂 齋藤 敬三 師 94歳 R2・12・24	第九教区 法圓寺東堂 只野 龍馬 師 88歳 R3・1・28	第十教区 真證寺東堂 三田村素道 師 93歳 R3・1・30	第十八教区 洞松院住職 小柳 智海 師 47歳 R3・5・22	第三教区 玉川寺寺族 村上 澄子 様 91歳 R3・1・2	第四教区 秀麓齋寺族 長澤 梅枝 様 91歳 R3・2・12	第二教区 大林寺寺族 田村 慶子 様 90歳 R3・4・14
------------------------------------	------------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------	------------------------------------	----------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------

※宗務所申請済の情報掲載

逝去

(謹んで弔意を表します)

第三教区 43番 R3・1・2	第四教区 94番 R3・2・12	第二教区 19番 R3・4・14
--------------------	---------------------	---------------------

包装をビニール袋にし、
送付状を割愛致しました。

編集後記

令和三年度もスタートしましたが、感染防止の対応は以前と変わらない状況です。ご案内のように現職研修会はリモートで開催致しました。また二年任期の改選も行われており新体制となった団体も御座います。コロナ禍で出来る坐禅会として記事を掲載致しました。今後も社会状況に合わせた宗務行政を行ってまいります。(T記)

宗務所長名の檀信徒用感謝状弔辞を準備しております。
お問い合わせください。